



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

学童保育(放課後児童クラブ) 31名が待機

遊びと生活を保障する拡充を

新学期がスタートしました
が、共働きやひとり親家庭の
子どもたちが放課後を過ごす
学童保育(放課後児童クラブ)
は、31人の子どもが入所でき
ずに待機となっています。

粕壁児童クラブ

15名が待機

新年度の学童保育(放課後
児童クラブ)の入所申し込み
は1958名、実際の入所児
童は1825名となりました。
入所申し込みの取り下げも
ありますが、待機となった子
が31名にのぼることは重大で

す。クラブ別には粕壁15名、
幸松6名、八木崎3名、南桜
井3名、豊春2名、武里1名、
正善1名です。

特に粕壁児童クラブは、入
所希望が増加していますが、
学校敷地内に児童クラブを設
置するスペースがなく、空き
教室もないことから、高学年
の15名が待機となりました。
現在、プレハブ施設と空き教
室で定員100名ですが、1
3年生の139名を受け入
れています。トイレが不足す
るなど事態は深刻で、拡充は
急務です。

江戸川小中学校は ランチルームを併用

今年新設された江戸川小中
学校に定員40名の放課後児童
クラブが設置され、15名が入
所しました(江戸川小中学校
の前身、富田小・宝珠花小に
は、放課後児童クラブがあり
ませんでした)。市内の全小
学校に設置となりましたが、
江戸川放課後児童クラブは、
学校のランチルームを放課後
児童クラブとしても使用する
ものというものです。

子どもの遊びと生活を保障
するためには、学校施設の併
用ではなく、独立専用スペー
スを確保することが必要です。

社協指導員の78%が (株)トライと契約

4月から放課後児童クラブの
運営が、社会福祉協議会から
民間株式会社「トライ」に変
わり、保育の質の継続と指導
員の継続雇用を求める運動が
広がりました。

社会福祉協議会の165名
の放課後児童クラブ指導員
(パートも含む)のうち12
9名(78・19%)が(株)ト
ライと雇用契約を結びました。
すべての放課後児童クラブに
経験者が配置され、大きな混
乱もなく新学期を迎えること
ができたということです。

指導員不足が課題となつて
いましたが、現在は、有資格
者93名の定数は確保され、指
導員の待遇は維持されている
ということですが。しかし、そ
もそも春日部の指導員の待遇
は、県内他市と比較して低す
がるもので、仕事と責任に見
合った待遇に改善をはかるこ
とが必要です。

大野とし子議員一般質問

デマンド交通の導入で
高齢者の外出の確保を



3月12日、大野とし子議員は、①デマンド交通の導入で、高齢者の外出機会の確保を②庄和地域東武線以南に消防分署を、について一般質問を行いました。

高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題

多くの高齢者の方から、「免許を返納し、病院や買い物にタクシーを使っているが、経済的に大変」「みんな出かけたかと思っても、今の春バスでは時間が合わない」などの声があり、

日常生活の移動に困っている実態があります。「交通弱者のみなさんの移動手段は、喫緊の課題」と指摘しました。

現在、多くの自治体で高齢者をはじめ、交通弱者のみなさんの要望に応じたデマンド交通が実施されています。県内では18自治体、近隣では、久喜市、白岡市、幸手市が実施しています。

大野議員は、「久喜市は、①市内循環バス、②乗合タクシー、③タクシー補助と

要 県内導入の自治体

- | | |
|------|-------|
| 行田市 | 秩父市 |
| 加須市 | 本庄市 |
| 東松山市 | 深谷市 |
| 志木市 | 幸手市 |
| 白岡市 | 久喜市 |
| 滑川町 | 北本市 |
| 川島町 | 鳩山町 |
| 小川町 | 小鹿野町 |
| 寄居町 | ときがわ町 |

望にに応じて、3つの方法で実施している。これから市がめざす「コンパクトシティー（福祉などの機能を市街地に集約する）のまちづくりを実施している富山市の公共交通を充実した事例を参考に、農村部など交通不便地域にデマンド交通を導入すること」を求めました。

また、「高齢者もいきいき過ごせるまち」を掲げている市長に。高齢者の移動手段の重要性についての認識を質しました。

都市整備部長は「公共交通活性化協議会において、春日部市にデマンド交通はなじまないとしており、考えていない。」と交通弱者の移動手段の充実に背を向ける答弁でした。市長は、「高齢者の移動手段も含め総合的に考えていきたい。」と答えるのみでした。

交通弱者の移動手段は増々重要な課題です。引き続き

提案・要求してまいります。

庄和消防署は、東武線以北にあります。東武線以南の東中野地区は住宅が増え、

緊急時の対応は1分1秒が生死を分ける

人口はこの5年間で331人と増加しています。

地域の方から、「消防車や救急車が出動する際、踏切で止まることがある。人口が増え、高齢化している地域なので、住民の安心安全のために東武線以南に消防分署を設置してほしい。」と切望されています。

大野議員は、「救急車の到着時間は、1分1秒を争います。平成30年度救急車の到着時間は最長32分でした。人口が増加している」と東武線以南に消防分署を設置すべき。」と提案しました。

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外 小児救急電話相談#8000

4/21(日) 南部厚生病院(内科系)大場20-1 TEL736-7511 浜崎医院(小児科系) 備後西3-8-27 TEL745-6000 館浦整形外科(外科系)永沼2229-1 TEL746-4832

4/28(日) みくに医院(内科系)下大増新田97-1 TEL737-1212 竹田クリニック(小児科系)武里団地3-23-103 TEL735-4501 みやざわ耳鼻咽喉科(外科系)中央1-52-8 TEL745-8733

